



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月25日

上場会社名 **常磐興産株式会社**

(コード番号: 9675 東証第一部)

(URL <http://www.joban-kosan.com/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 斎藤 一彦
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。
 ②最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概要（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第1四半期	9,132	0.0	△148	—	△277	—
平成18年3月期第1四半期	9,128	△1.3	38	—	△229	—
(参考) 平成18年3月期	46,160		1,674		521	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成19年3月期第1四半期	△283	—	△3.	94	—	—
平成18年3月期第1四半期	△848	—	△11.	90	—	—
(参考) 平成18年3月期	△154		△2.	15	—	—

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の項目につきましては、平成18年第1四半期より開示を行なっているため、平成18年度第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結第1四半期における我が国経済は、企業業績の好調さを反映して民間設備投資は堅調で、個人消費も所得・雇用環境の改善を背景に増加するなど景気は回復基調で推移いたしました。

①観光事業は、主力のスパリゾートハワイアンズにおいて、テレビCM放映やパブリシティ等を行うとともに、ゴールデンウィークのレジャー動向が好調に推移するなど首都圏を中心に集客が増加し、堅調に推移いたしました。またクレストヒルズゴルフ倶楽部において宿泊ゴルフパックの新規開拓は伸び悩んだものの、ホテルクレスト札幌が観光を目的とする利用者の増加により全体としてはほぼ前年並みに推移しました。

この結果、利用人員は、ハワイアンズ（日帰り）が318千人（前年同期比1千人、0.2%増）、ホテルハワイアンズ（宿泊）が80千人（前年同期比9百人、1.2%増）、クレストヒルズゴルフ倶楽部が12千人（前年同期比2千人、14.3%減）、山海館が2千人（前年同期比3百人、13.5%減）、ホテルクレスト札幌が12千人（前年同期比1千人、9.8%増）となり、売上高は25億75百万円（前年同期比33百万円、1.2%減）となりました。

②卸売業は、燃料商事事業部におきまして、石油部門の販売数量は減少しましたものの、石炭部門において電力及び一般産業向け販売数量が増加したことにより、売上高は増加いたしました。不動産事業につきましては、販売用不動産の売却収入減並びに賃貸ビル売却に伴う賃貸収入減により売上高は減少いたしました。

③製造関連事業は、包装部材製造部門において、液晶部品・自動車・樹脂関連向けの段ボール・ハイプル・プラスチック成型品が好調に推移したことにより売上高は増加し、また鉄鋼機械部門につきましては、産業機械・鋳造関連が堅調に推移し売上高は増加いたしました。

④建設・土木業をはじめとするその他の事業につきましては、引続き公共事業が抑制され熾烈な受注競争のために落札率が低下するなど厳しい状況で推移する一方、石油小売・港湾運送事業は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの売上高は、91億32百万円（前年同期比3百万円、0.0%増）、営業損失は1億48百万円、経常損失は2億77百万円、当第1四半期純損失は2億83百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、観光事業が第2四半期に集中し、卸売業並びに建設・土木業が下期に集中するため、第1四半期は他の四半期に比べ低水準となる傾向にあります。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第1四半期	64,390	15,415	23.9	213.89
平成18年3月期第1四半期	72,443	13,086	18.1	183.51
(参考)平成18年3月期	66,474	16,219	24.4	225.04

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における総資産は、前連結会計年度に比べ2,084百万円減少し、64,390百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、投資有価証券の減少によるものであります。負債につきましては前連結会計年度に比べ1,252百万円減少し、48,974百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金、短期借入金、長期借入金、繰延税金負債の減少によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度に比べ803百万円減少し、15,415百万円となりました。これは主に、有価証券評価差額金の減少と、第1四半期純損失を計上したことによるものであります。

(参考)

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成18年5月17日発表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上

(添付資料)

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	平成19年3月期 第1四半期末	平成18年3月期 第1四半期末	金額	増減率	平成18年3月期 金額
(資産の部)					
I 流動資産	10,314	10,527	△ 213	△ 2.0	11,266
現金及び預金	3,491	3,525	△ 33	△ 1.0	3,716
受取手形及び売掛金	4,302	3,813	489	12.8	5,767
有価証券	55	34	20	57.4	54
たな卸資産	1,595	2,205	△ 609	△ 27.7	1,280
その他	906	2,098	△ 1,192	△ 56.8	490
貸倒引当金	△ 37	△ 1,151	1,113	△ 96.7	△ 43
II 固定資産	54,056	61,892	△ 7,835	△ 12.7	55,183
有形固定資産	43,701	54,157	△ 10,455	△ 19.3	43,875
建物及び構築物	15,708	20,881	△ 5,173	△ 24.8	15,876
機械装置及び運搬具	1,178	1,367	△ 188	△ 13.8	1,194
工具、器具及び備品	378	411	△ 32	△ 8.0	369
土地	26,434	31,487	△ 5,053	△ 16.0	26,434
建設仮勘定	2	8	△ 6	△ 77.2	—
無形固定資産	129	135	△ 6	△ 4.9	130
投資その他の資産	10,225	7,599	2,626	34.6	11,178
投資有価証券	9,093	6,150	2,942	47.9	10,012
長期貸付金	1,092	135	957	707.0	1,093
その他	1,136	1,438	△ 301	△ 21.0	1,180
貸倒引当金	△ 1,096	△ 124	△ 971	778.8	△ 1,108
III 繰延資産	19	24	△ 4	△ 18.9	23
資産合計	64,390	72,443	△ 8,053	△ 11.1	66,474
(負債の部)					
I 流動負債	26,353	31,954	△ 5,600	△ 17.5	26,537
支払手形及び買掛金	3,140	2,869	271	9.5	3,612
短期借入金	17,516	23,117	△ 5,601	△ 24.2	17,794
一年内償還社債	1,056	906	150	16.6	1,056
未払金	909	1,327	△ 418	△ 31.5	2,124
未払法人税等	53	54	△ 0	△ 0.8	123
賞与引当金	487	510	△ 23	△ 4.6	455
その他	3,190	3,168	22	0.7	1,371
II 固定負債	22,620	27,258	△ 4,637	△ 17.0	23,688
社債	1,515	1,621	△ 106	△ 6.5	1,565
長期借入金	12,359	21,243	△ 8,884	△ 41.8	12,960
預り保証金	1,854	2,347	△ 493	△ 21.0	1,852
連結調整勘定	49	17	31	182.5	51
繰延税金負債	6,463	1,398	5,065	362.3	6,826
再評価に係る繰延税金負債	—	66	△ 66	—	—
退職給付引当金	150	214	△ 63	△ 29.7	149
役員退職慰労引当金	217	247	△ 30	△ 12.5	258
その他	11	102	△ 90	△ 88.4	24
負債合計	48,974	59,212	△ 10,238	△ 17.3	50,226
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	144	△ 144	—	27
(資本の部)					
I 資本金	—	10,221	△ 10,221	—	10,221
II 資本剰余金	—	1,764	△ 1,764	—	1,764
III 利益剰余金	—	△ 436	436	—	625
IV 土地再評価差額金	—	92	△ 92	—	△ 182
V その他有価証券評価差額金	—	1,605	△ 1,605	—	3,853
VI 自己株式	—	△ 159	159	—	△ 61
資本合計	—	13,086	△ 13,086	—	16,219
負債、少数株主持分及び資本合計	—	72,443	△ 72,443	—	66,474
(純資産の部)					
I 株主資本	12,264	—	12,264	—	—
資本金	10,221	—	10,221	—	—
資本剰余金	1,625	—	1,625	—	—
利益剰余金	479	—	479	—	—
自己株式	△ 62	—	△ 62	—	—
II 評価・換算差額等	3,124	—	3,124	—	—
III 少数株主持分	26	—	26	—	—
純資産合計	15,415	—	15,415	—	—
負債、純資産合計	64,390	—	64,390	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期 平成19年3月期 第1四半期末	前年同四半期 平成18年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	9,132	9,128	3	0.0	46,160
II 売上原価	8,116	7,828	288	3.7	39,558
売上総利益	1,016	1,300	△ 284	△ 21.9	6,601
III 販売費及び一般管理費	1,164	1,261	△ 96	△ 7.7	4,926
営業利益又は営業損失 (△)	△ 148	38	△ 187	—	1,674
IV 営業外収益	80	67	13	20.2	139
V 営業外費用	209	334	△ 125	△ 37.6	1,292
経常利益又は経常損失 (△)	△ 277	△ 229	△ 48	—	521
VI 特別利益	24	1	22	1,450.0	4,453
VII 特別損失	6	724	△ 717	△ 99.1	1,354
税金等調整前四半期純損失 (△) 又は税金等調整前当期純利益	△ 259	△ 951	692	—	3,621
法人税、住民税及び事業税	17	17	0	4.5	117
法人税等調整額	5	△ 120	126	—	3,635
少数株主利益	0	1	△ 0	△ 56.8	22
四半期 (当期) 純損失	283	848	△ 565	—	154